

文藝と思想

第 66 号

『武道伝来記』「大蛇も世に有人が見た様」小考	大久保 順 子	1
広瀬旭荘の題画詩「題春川釣魚図」の手法 — 楽府詩「枯魚過河泣」と『莊子』の寓喩 —	月 野 文 子	11
李退溪の教育観の現代的意義	疋 田 啓 佑	25
〈死を覚悟する女〉はいかに受け継がれたか — 『金色夜叉』から『其面影』『それから』へ —	石 井 和 夫	39
自然の技術としての建築術——カントの体系思想	望 月 俊 孝	53
スポーツ行政による地域スポーツクラブ育成の課題 — 教育行政における問題構造の同型性に着目して —	作 野 誠 一	(107)
学習における「本気」とシナプス可塑性	森 邦 昭	(87)
ニーチェをめぐる女性たち — ニーチェの女性観の背景 — (I)	恒 吉 良 隆	(53)
フィリップ・シドニー『五月祭の佳人』 — 翻訳・注解・解説 —	村 里 好 俊	(31)
ジャージー・コジンスキー『ビーイング・ゼア』(1971) 論 — 浮遊する「空白のページ」	馬 場 弘 利	(17)
A Cool Character and His Depths of Fury: Impulse and Form in David Goodis's <i>Down There</i>	C. S. Schreiner	(1)
彙 報		105
